

大切な命を守るために備えましょう

**考えてみよう
身近で起こるかも
しれない災害**

災害とは、地震や大雨、火災などによって、生命や暮らしに大きな被害が出ることです。災害対策基本法では、大きく「自然災害」と「人為災害」に分けられています。

自然災害の例

地震（建物の倒壊、地盤の液状化など）、風水害（台風、豪雨、洪水、土砂崩れ、浸水など）、火山災害、雪害など

人為災害の例

火災、交通事故による周囲への被害、化学物質による汚染、感染症の大流行など

日野町でも、台風、豪雨、地震、大雪などによるさまざまな災害が起こる可能性があります。浸水や土砂崩れなどは、地域によって危険度の違いもあるため、防災マップなどで自宅や職場、通学路などの身近な場所に潜む危険を確認しておきましょう。



町ホームページ
日野町総合
防災マップ

防災への第一歩 知ろう、話し合おう

災害時には、一刻も早く防災情報を把握し、避難行動をとることが重要です。また、身近な人たちと普段から意識共有をしておくことが大切です。

「日野町防災アプリ」を活用しましょう

アプリのお知らせ配信によって町から地震速報や避難所の開設などを通知します。また、お住まいの地区の区長・町代さん、公民館からの情報が届きます。町の「防災マップ」「避難所一覧」などの防災情報のほか、「広報ひの」「こみカレンダール」などの生活情報もご覧いただける、手軽で便利な情報ツールです。スマートフォンなどにダウンロードして、ぜひご利用ください。



メニューの中に防災情報や生活情報があります

こちらからダウンロードできます



Android の方



iPhone の方

家族・地域で話し合いましょ

災害時は、家族などと連絡が取りにくくなる場合や、早急な判断を必要とする場合があります。迷わず行動するために事前に話し合っておきましょう。

- 避難場所や避難経路（昼と夜、雨の日も想定）
- 集合場所（家族が別々の場所にいる場合の待ち合わせ場所）
- 連絡方法（電話が繋がらない場合の連絡手段）
- 役割分担（誰が何を持ち出す・誰が高齢の家族を支援するなど）
- 近所での助け合い（声を掛け合う相手、支援が必要な方の確認など）

いつ起こるかわからないから、今から始めよう

自宅に備えておく物品リスト

少なくとも3日分、できれば1週間分を用意しましょう。

基本の備え

- | | |
|---|-------------------------------------|
| ☐ 飲料水 | ☐ 非常食 |
| ☐ 携帯トイレ | ☐ トイレシートペーパー |
| ☐ ティッシュ | ☐ ウエットティッシュ |
| ☐ ライター | ☐ 懐中電灯 |
| ☐ 携帯ラジオ | ☐ 乾電池 |
| ☐ モバイルバッテリー | |
| ☐ 常備薬 | ☐ お薬手帳 |
| ☐ 救急用品（ばんそうこう・消毒液など） | |
| ☐ 衛生用品（マスク・歯ブラシなど） | |
| ☐ 生理用品 | ☐ ポリ袋 |
| ☐ タオル | ☐ 給水袋 |
| ☐ 現金（小銭も用意する） | |
| ☐ 身分証の写し | |
| ☐ 軍手 | ☐ 雨具 |
| ☐ 簡易毛布 | ☐ 衣類 |
| ☐ ヘルメット | |



必要に応じて

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| ☐ 乳幼児がいる場合 | ☐ ミルク |
| ☐ 紙おむつ | |
| ☐ 離乳食 | |
| ☐ おもちゃ | |
| ☐ 高齢者がいる場合 | ☐ 介護用品 |
| ☐ 補聴器の電池 | |
| ☐ ペットがいる場合 | ☐ ペットフード |
| ☐ トイレ用品 | |
| ☐ リード | |
| ☐ ケージ | |

食品や日用品は「ローリングストック法」（普段から多めに買い置きし、使った分を買い足して常に一定量を備える方法）がおすすめです。



災害別の対策

特別なことを一度にする必要はありません。できることから少しずつ、備えを増やしていきます。

- 地震への備え
 - ・家具・家電を固定し、寝る場所の近くに倒れやすい物を置かない
 - ・ガラス飛散防止フィルムを貼る
 - ・避難用の靴やヘルメットを取り出しやすい場所に置いておく
- 台風・大雨への備え
 - ・雨どい、側溝、用水路まわりを清掃する
 - ・ベランダや庭の飛ばされやすいものを片付ける
 - ・浸水が心配な場合は家財を高い場所へ移動し、早めの避難を意識する
- 土砂災害への備え
 - ・崖や山の近くにいるときに、雨が続く場合は早めに情報を確認する
 - ・斜面からの小石、濁った水、地鳴りなどの前兆現象に注意する
- その他
 - ・学習会や訓練に参加する

災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。防災月間を機会に、家庭での備えや避難について見直してみませんか。
小さな準備が、もしものときの安心につながります。

問

地域防災室（総務課内）

☎ 0748-526500